

東京区部外縁にある多様な自転車問題を抱える駅周辺地区の自転車利用者意識調査

国土舘大学大学院 学生会員 ○川口 詩乃
元国土舘大学理工学部 非会員 橋本 拓
国土舘大学理工学部 正会員 寺内 義典

1. 背景と目的

東京都市圏パーソントリップ調査における代表交通手段別分担率¹⁾では、都心部は鉄道利用が多く郊外では自動車の分担率が高まるが、この中間に自転車の分担率が高まるエリアがある。放射状に敷設された鉄道の路線間隔も広がり南北に長い駅勢圏を形成する。多くの駅利用者は自動車でなく自転車を利用する。人の集まる駅周辺地区の商店街は発展し、日常的な買い物の自転車利用も増加する。

そこで本研究では、東京都世田谷区の西北端にある千歳烏山駅周辺地区を対象として、自転車利用者と地域住民の自転車に対する意識調査を行った。これをもとに自転車適正利用を目指す活動を検討することを目的とする。

2. 方法

最初に、千歳烏山駅周辺地区に関する自転車利用状況を統計データから把握する。次に、自転車適性利用を目指すまちづくり活動についてヒアリングを行うとともに、自転車利用者や地域住民を対象とした自転車に対する意識調査を行う。これらより生活自転車の適性利用を目指す方策を推進するための知見を得て放置自転車対策だけでない取り組みを検討する。

3. 対象地区の概要

世田谷区自転車総合計画²⁾によると、区内鉄道駅周辺の放置率は3%程度と対策が進んでいるものの対象地区は約250台と区内最多となっている。地元商店会事務局長の田中氏から経緯についてヒアリングを行ったところ、撤去による放置自転車対策だけでは買い物客への影響が大きいこと、自転車の交通安全対策やバリアフリー対策も視野に総合的な啓発活動等を実施するなど、地域による取り組みが進められていることが明らかとなった。これより、この地域活動を前提とした自転車利用意識調査を行うこととした。

4. 調査方法

自転車利用者の意識調査として、駐輪場所の選択・自転車の安全利用意識・個人属性それぞれについて調査する。2022年10月15日、16日の2日間で9:30～15:00に千歳烏山文化祭会場において、区民センター前広場にてQRコードを使用しアンケートを実施した。また、自転車の利用実態とヒヤリハット地点について地図ボードを使用し調査した。

5. 調査結果

駅前商店街は放置自転車が多く道が狭いため自転車対自転車、自転車対車で衝突することが多く、特に人対自転車の衝突が多かった。

自転車利用者対象の自転車利用実態については、駐輪場を選ぶ際の条件として、長期駐輪を理由としてあげている回答が多く(図1)複数の駐輪場から選ぶ際に最も考慮する条件では料金が安いことが多かった。(図2)

全員対象の自転車利用実態については交通ルール違反行為を見たことがあるという回答が多かったが、赤信号や二人乗りなど明らかに危険な行為を見たことがあるという回答は少なかった。(図3)

自転車利用者対象の安全意識については、左側通行や徐行などの交通ルールを守る人が多くいたが、路上駐輪や車や人のすり抜けをやったことあるという回答も多くあった。(図4)

キーワード 自転車, 駐輪場, 歩行環境, 交通安全, 意識調査

連絡先 〒154-8515 東京都世田谷区世田谷 4-28-1 国土舘大学理工学部 TEL03-5481-3280

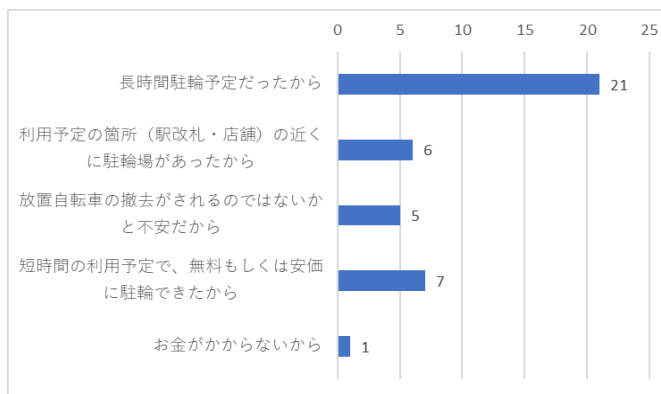


図1 駐輪場の選択理由

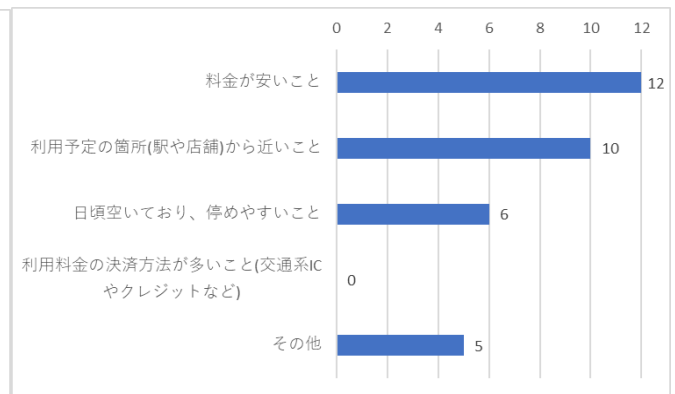


図2 複数の駐輪場から選ぶ際に最も考慮する条件

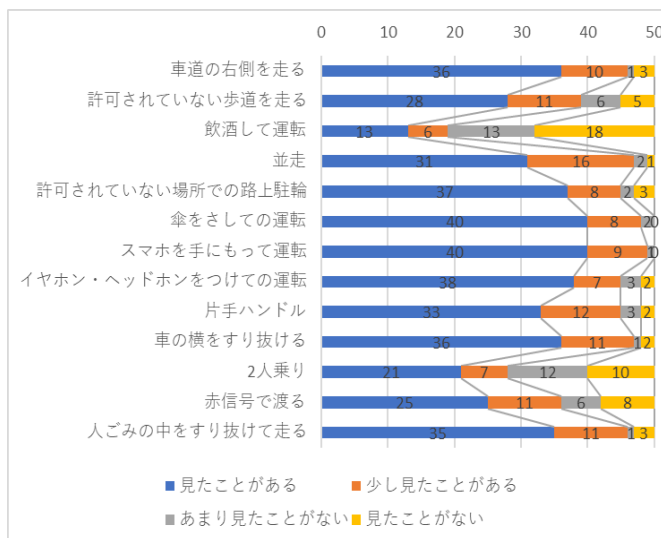


図3 他者の自転車における危険行為の経験

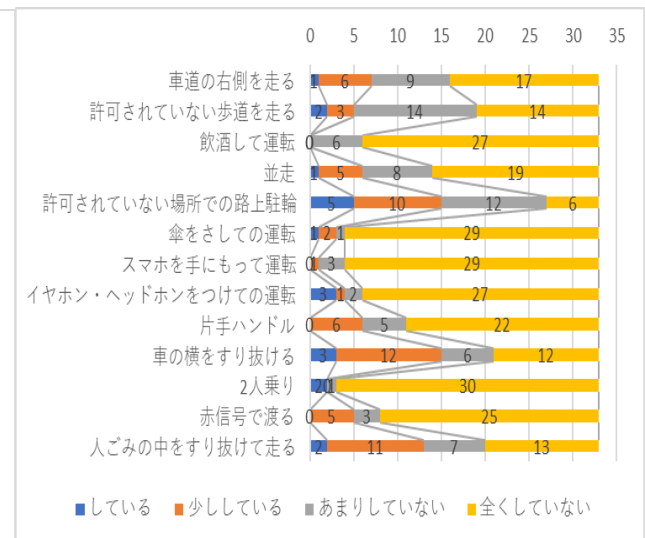


図4 自身の自転車における危険行為の経験

6. 考察

アンケート結果から駐輪場を利用する理由として安価もしくは無料であることと長時間駐輪であること、路上駐輪をする理由として目的地の近くに駐輪場がなく、買物等の短時間駐輪であることから駐輪場には費用性と利便性を求めていることが判明した。

また、自転車を正しく安全に使うとする意識はあるが、交通ルールの用語やルール違反行為の危険性についての理解が不十分であるため、自身が思っているよりも交通ルールを守れていない人が多い。

7. まとめ

意識的に交通ルールを守っているが他者視点では交通ルールを守れていないため、改めて自身の行動を見直すべきであり、交通ルールの用語やその意味について再度確認する必要がある。烏山地域自転車等適正利用協議会が主催している交通安全教室などの参加を強化する必要がある。

また、今後の放置自転車対策は従来の強制撤去だけでなく、買物利用者にとって便利な場所にある小規模駐輪が必要であり、ヒヤリハット調査から危険な運転がある一方で自転車を正しく安全に使うとする住民意識を育てて定着させるルールづくりが必要である。

【参考文献】

- 1) 東京都市圏交通計画協議会：第6回東京都市圏パーソントリップ調査, 2021. 3
- 2) 世田谷区：世田谷区自転車活用推進計画及び自転車等の利用に関する総合計画 令和3年度～令和12年度～世田谷思いやり自転車プロジェクト～, 2021. 7